

下 仁 田 高 等 学 校 学 校 評 価 一 覧 表 ② (令和3年度版)

(様式2)

羅 針 盤		達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題	
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目	①	②				総合
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒が70%以上である。	B	A	B	ICTを効果的に活用し、言語活動を重視した双方向型のわかりやすい授業を継続的に行い、生徒が主体的に学習に取り組めるように努めた。	わかりやすい授業が、学校が楽しい(好き)という思いにつながったのではない。	ICTを効果的に活用し、双方向型のわかりやすい授業の実践や、生徒の実態に即した教育活動を行う。
		② 習熟度別や少人数制の授業形態に満足している生徒が70%以上である。	A	A	A	基本的な学習事項の習得、定着に向けて、1年次は、国語・数学・英語において習熟度別指導、2・3年次は、コース別の少人数指導を実施し、基礎学力の向上に努めた。	手厚く効果的な支援がなされている。こらからも個を大事にし、生徒一人一人にあった指導を実践してほしい。	落ち着いた学習環境を維持するために、更なる授業改善に努める。
	2 地域と連携し、地域の教育力を活用していますか。	③ 「総合的な探究の時間」や学年行事等に、意欲的に取り組んだ生徒が70%以上である。	B	A	B	地域学習や行事については内容等の見直しや改善を行い、例年と同様の成果を挙げることができた。生徒の取組状況は各学年ともに概ね良好であった。	地域学習の班活動を通してコミュニケーション能力が高められている。今後も力を入れて取り組んでほしい。	地域学習や行事等の内容を工夫し、生徒が積極的に取り組めるよう事前・事後指導に力を入れる。
		④ 「ぐんまコミュニティー・ハイスクール事業」等の地域と連携した事業や諸活動に意欲的に参加した生徒が70%以上である。	B	A	B	コロナ禍で活動内容の制限はあったが、工夫しながら活動の幅を広げることができた。	GCHは本校の目玉事業である。コロナ禍の中、活動の幅を広げられたのは素晴らしい。今後もメディア等で取り上げられる活動を検討してほしい。	GCHを各教科の授業の中で関連づけ、地域との連携は意義ある活動であることを理解させる。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤ 「学び直し学習」や「学び合い学習」を取り入れた授業がわかりやすいと考えている生徒が、70%以上である。	A	A	A	密にならないように場面の設定を工夫し、習熟度別指導や少人数指導、言語活動の充実を図った。また、個々の生徒の学習状況に応じた個別の支援を行い、学習意欲の向上を図った。	生徒の実態に即した手厚い方策がとられている。今後も少人数の利点を生かした学習指導を行い、生徒の学習意欲が向上することを期待している。	多様な生徒に対応するため、習熟度別指導や少人数指導の方法を工夫する。教員間で情報を共有し、指導や評価に生かす。
		⑥ 多様な進路に対応した学習が役立っていると評価している生徒が70%以上である。	B	A	B	コースの特色を生かした授業を工夫するとともに、個別の面接や小論文の指導なども丁寧に実施した。	コースの特色を生かした授業や個別指導により、学習への満足度が上がっている。	進路学習を充実させ、学力向上の重要性を理解させる。
	4 生徒は確かな学力を身につけていますか。	⑦ 授業に真面目に取り組んでいると自己評価している生徒が70%以上である。	A	A	A	全教職員が共通理解のもと、授業規律の確保は維持されている。生徒の授業態度は概ね良好である。	生徒の評価も高く良好である。今後も継続して取り組んでほしい。	授業中のマナー違反を許さない体制を維持し、全職員が授業規律の確保に努める。
		⑧ 学力の定着を図る指導を充実させ、学力が向上したと自己評価している生徒が70%以上である。	A	A	A	一斉授業では補えない学習の遅れや定期考査に対応するため、学年・教科で協力して放課後等の個別指導に取り組んだ。	一斉授業と個別指導を組み合わせた手厚い指導がなされ、学力向上につながっている。	今後も個に応じた指導を心掛ける。スクールカウンセラーや専門アドバイザーから助言をもらい、指導法を更に工夫する。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑨ 年3回以上の面談指導を行い、面談が役立ったと感じている生徒が70%以上である。	B	A	B	面談週間に限らず、学校生活全ての場面で声かけを実践し、不安を抱える生徒への対応に努めた。全職員で情報の共有化を図るとともに、スクールカウンセラーや外部機関と連携し、対応している。	生徒一人一人を支援する体制が整っている。先生と生徒の関係が良好であると感ずる。	面談週間のみならず、学校生活のあらゆる場面で全職員による声かけを継続する。スクールカウンセラーや外部機関との連携を密にし、生徒理解を深める研修等を実施する。
		⑩ 部活動に加入し、継続的に活動している生徒が50%以上である。	B	B	B	設置する部活の精選、活動内容の改善に取り組んだ。活動が制限された中でも生徒の充実感が得られる部活動づくりに励んだ。	コロナ禍において、工夫しながら活動できたことは素晴らしい。	生徒にとって魅力ある部活動となるよう、活動内容や指導方法等を検討する。設置した部活動の活動状況を定期的に把握する。
		⑪ 情報モラルや交通安全、健康に関する講話等が役立ったと評価する生徒が70%以上である。	A	A	A	具体例を盛り込んだ講演会や体験的な学習活動を企画・実施した。	取組状況は良好である。生徒が健康で安心・安全な生活が送れるよう、今後も指導してほしい。	外部講師を招いた講話や学習活動の内容・実施時期を検討する。

Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑫ 欠席率5%以下、遅刻率は3%以下である。	A	B	B	生徒への粘り強い指導や保護者への連絡を密に行った。外部機関とも連携を図り対応した。	粘り強い指導がなされ、概ね良好である。今後も地道な指導を継続してほしい。	遅刻指導の方法を改善する。不登校傾向の生徒には、保護者及び外部機関と連携し、支援体制を強化する。
		⑬ 本校で定めた服装・頭髪に関するルールを遵守していると考えている生徒が70%以上である。	A	A	A	多くの生徒がルールを遵守した学校生活を送っている。進路との関連を強く意識づけ、生徒の規範意識を向上できるよう取り組んだ。	ルールを守ろうとする姿勢がうかがえ、良好である。	共通理解のもと日常的な身だしなみ指導を全職員が実践し、規範意識向上に努める。
	7 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	⑭ 学校はいじめの防止と早期発見を積極的に行っていると感じている生徒が85%以上である。	B	B	B	いじめが疑われる事案は速やかにいじめ対策委員会に報告され、組織的に対応できた。生徒会による年間を通じた「あいさつ運動」を実施し、学校全体で「いじめ撲滅」に取り組むメッセージを伝えることができた。	組織的な対応がなされている。「いじめゼロ」は難しい問題ではあるが、職員一人一人がアンテナを高くして、未然防止と早期発見に努めてほしい。	面談等による情報収集の更なる徹底、職員間の迅速な情報共有を行い、学校全体で早期発見、早期解決に努める。生徒が主体となっていじめ防止に取り組む活動を増やし、いじめを許さない学校風土を醸成する。
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	⑮ 進路ファイル(含キャリアパスポート)に前向きに取り組んでいる生徒が70%以上である。	A	A	A	進路ファイルに対する生徒の取組はよく、計画的な進路指導を行うことができた。	計画的な指導がなされ、良好である。生徒が高評価していることから、充実した取組であることが感じられる。	「進路ファイル(キャリアパスポート)」の内容や活用法を更に改善していく。
		⑯ 進路関連行事に意欲的に取り組んでいる生徒が70%以上である。	B	A	B	進路ファイルを活用することで進路行事等の記録を保管し、次年度への指導につなげた。「進路のてびき」を家庭にも配付し、保護者と情報を共有できるようにした。	進路関連行事への取組は概ね良好であり、保護者と情報が共有されている。	進路関連行事の内容や時期を検討し、生徒が主体的に進路選択できるよう計画する。
	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑰ 「将来の職業」や「卒業後の進路」について前向きに考えている生徒が70%以上である。	A	A	A	進路意識の向上や進路実現に向け、進路指導部と学年で連携し、丁寧な指導を行うことができた。	良好であるが、進路に対する意識の差を小さくするために、目標が定まらない生徒への指導を更に工夫してほしい。	日常の学校生活の中で、卒業後を考えて行動がとれるよう、学年、教務、生徒指導とも連携して進路指導を行う。
	⑱ 生徒の卒業後の進路について一度でも話し合いをした家庭が70%以上である。	B	B	B	進路ファイルを活用することで、家庭での進路の話し合いの内容を担当が把握しやすくなり、個別の支援が充実しつつある。	個別の支援は充実しているため、概ね良好である。進路に対する興味・関心を高める方法を工夫してほしい。	「進路ファイル(キャリアパスポート)」を活用し、家庭で進路について話し合う機会を定期的を設定する。	
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲ 「学校の様子がよく分かる」と感じている保護者が70%以上である。	A	A	A	WEBページを随時更新することで、保護者や地域への広報活動を迅速に行うことができた。	WEBページ(下高WEBダイアリーやコロナ対応ページなど)で学校の様子がよく発信されている。	本校の特色やメッセージが、より多く伝わるような魅力あるWEBページを作成する。
		⑳ PTA関係行事への保護者の参加が40%以上である。	A	A	A	PTA行事も制限されたが、可能な範囲で活動することができた。	コロナ禍で大変だったと思われるが、良好である。	多くの保護者がPTA関連行事に参加できるよう、内容や時期を検討する。
Ⅵ 教育のデジタル化に努めていますか。	11 ICTを活用した指導を行っていますか。	㉑ ICTを活用した授業に、生徒の70%以上が満足している。	A	A	A	教員相互の授業参観や研修を行い、ICT機器を効果的に活用する授業を実施できた。	良好である。授業改善に取り組む姿は、教員側の熱意として生徒たちに伝わると思う。	教員相互の授業参観や研修に励み、ICT機器を効果的に活用した授業を実施する。
	12 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	㉒ ICTを活用した通知等に、生徒・保護者の70%以上が満足している。	A	A	A	ICT機器を活用したWEBアンケートや通知等により、生徒・保護者に必要な情報を迅速かつ分かり易く発信することができた。	生徒・保護者に必要な情報が的確に発信され、良好である。	ICT機器を活用したWEBアンケートや通知等の内容や時期を検討し、生徒・保護者に必要な情報を適切に発信する。